

ご挨拶 AJCE 事務局長就任にあたって

社団法人日本コンサルティング・エンジニア協会
事務局長 山下 佳彦

平成19年5月15日の定時総会の承認を受けまして、10月1日付で事務局長に就任いたしました。就任のご挨拶にあたり、小生を理事会に推薦して頂いた(株)建設技術研究所と小生を信頼し、ご承認頂いた理事各位に御礼を申し上げます。また、11年間に亘り事務局長としてAJCEの諸活動を支え、FIDICの事務局長会議、会員委員会や大会委員会をとおり、日本人コンサルタントの地位向上に貢献された、藤江前事務局長に敬意を払うと共に、心よりお疲れさま、と申し上げます。藤江様は、アドバイザーとして来年3月までAJCEの活動を支えられますが、FIDICからも引き続き委員会活動を支援して欲しいとの要請があり、今後益々ご活躍されるものと思われま

す。小生は、(株)建設技術研究所から1991年のFIDIC東京大会にワークショップの座長として参加し、その後、F研、環境委員会、技術研修委員会で16年間に亘りAJCEの活動に携わってまいりました。FIDICでは環境委員会、持続可能な開発作業部会、持続可能な開発委員会の連絡委員として、微力ながらこれらの活動を支えてまいりました。能力開発がFIDICの主要テーマの一つに上げられていますが、これら一連の活動を通して研鑽し、世界の一流のコンサルタントと親交を深め、社会的な貢献にも進んで参加することなど、まさしく自らの能力開発の16年であったと感じています。このような機会を与えて頂いた(株)建設技術研究所とAJCEに深く感謝する次第です。

事務局長として、会員(特に若手会員)の能力開発・研修、業際的機関と連携した社会貢献、DB/DBO・PPP・GPIMS・アライアンス等の日本のコンサルタントにとり重要なテーマに対し、FIDICと連携したセミナーや講習会の開催、これらをとおした事業機会促進、会員の増強、受託事業の形成などを理事会、委員会や会員各位をとおり、促進させてまいりたいと存じます。

今年のFIDIC年次大会で事務局長会議に初めて参加し、国や地域により抱えている課題や各協会が担っている役割の違いを実感しました。伝統があり、コンサルタント業界が一本化されている協会は、運営費が潤沢であり、専属のロビーストを職員に採用し、業界の意見を国会やマスコミにアピールしており、うらやましく感じました。一方で、日本のコンサルタント業界は一本化されておらず、運営資金、組織力、代表性などが課題となっていますが、その反面、品質による選定(品確法)が実現しており、この点は救いがあります。今後、国際化が進む中で、AJCEが国内で担う役割が増して行くものと思われま

す。事務局長という重責を与えられ、藤江様の築いてこられた基盤の上に、どのような建築物を建てることのできるか、不安ではありますが、小生が受けてきたご恩をお返しする好機であると思い、尽力してまいる所存です。会員各位の暖かなご支援、ご指導・ご鞭撻を賜りたく就任のご挨拶といたします。

以上

AJCEの10年余を振り返り

社団法人日本コンサルティング・エンジニア協会
前事務局長 藤江五郎

本年9月30日に10年10ヶ月の間、お世話になりましたAJCE事務局を辞職致しました。

平成8年12月採用試験をパスして、試傭期間3ヶ月の条件付で、内田事務局長の下で、勤務を開始しました。当時の事務局は事務局長と武田さんのお二人で、電話とFAXだけの通信網でした。広報委員会の土谷委員長(元基礎地盤)から提案を頂いたIT-Netの導入検討が最初の仕事でした。当時の松永会長(日水コン社長)のご理解とご支援を得て、秋永様(日水コン)が半日AJCE事務局でIT導入の作業をして頂き、平成9年5月に導入が完了しました。IT導入に伴い、AJCEと会員、FIDIC間の交信が飛躍的に増加をしました。

事務局長として傾注したことは沢山ありますが、FIDICを通じて新鮮な海外情報を入手し、理事会、常設委員会、会員に発信をすることを最初に務めました。次に日本の情報を海外に発信することでした。FIDIC大会参加によりFIDIC、各国協会との人脈を構築することにより、より一歩踏み込んだ本音の対話も大切な仕事でした。当時FIDIC活動研究会(F研)という自主活動組織があり、廣谷会長を始め現在の常設委員会活動の中心になっておられる会員は殆どF研に所属しておりました。1991年FIDIC東京大会開催を契機に当時の若手を中心にFIDICを通じて世界のCE産業動向を勉強するところから始まり、活動の経過と共に、受身から「発信」へと変貌を遂げ、その役割に一定の成果を確認し、F研解散をしました。その後

残された課題への取り組みがAJCEのこれからの活動指針になると思います。

AJCEはFIDIC活動との連携に根ざしたものであることは事実であり、「日本から世界に発信」する体制を育成することが日本における「存在価値」を確保することであると思います。日本のCE産業が抱える今日の課題を世界に発信し、世界のCE産業の共通課題として議論を展開することが、彼我の新たな展望につながるようになると思います。

毎年開催されるFIDIC年次大会は様々な視点からの課題提供の場であり、これを能動的に活かしてこそ参加の意義があり、その成果を次の1年間の個々の業務に活かす機会でもあります。

私は、幸運にも4代の会長の下で働く機会を得ました。松永会長(日水コン)、石井会長(建設技術研究所)、都丸会長(いであ)、廣谷会長(オリエンタルコンサルタンツ)の各会長から適切なご指導を得て、常設委員会、会員各位の温かいご支援に恵まれ、何とか今日まで歩むことが出来ました。紙面の都合上割愛をさせていただきますが、会員ひとりひとりへの思い出が脳裏を横切り、それが過去10年余のAJCEの歴史と共に私の半生の拭い去ることの出来ない貴重な経験と思い出として残っております。ありがとうございました。深い感謝の気持ちを込めて、皆様のご壮健とご活躍をお祈り申し上げます。

事務局報告

－1－ 第217回理事会 報告

日 時：平成19年10月9日(火)

14：00～17：00

場 所：AJCE事務局

出席理事：14名

出席監事：2名

議 事：

1. 会員委員会 報告・審議
会員増強
2. 倫理委員会 報告・審議
BIMS アンケート集計
3. 政策委員会 報告・審議
受託事業
新公益法人制度
4. 総務財政委員会 報告・審議
総務財政に係る規定集の改定
5. 国際活動委員会 報告・審議
レッドブック改訂版(MDB版)解説
QBS アンケート
ASPAC/TCDPAP 韓国大会参加
6. 技術研修委員会 報告・審議
FIDIC 大会報告会 10月5日(金)
日豪交換研修 10月12日～11月2日
AJCE 年次セミナー 11月20日(火)
7. 広報委員会 報告・審議
8. 技術交流委員会 報告・審議
9. 事務局報告

－2－ FIDIC-2007 大会報告会 報告

日 時：平成19年10月5日(金)

13：30～17：30

場 所：(株)日本工営 会議室

参 加 者：52名

FIDIC大会の参加者が、各種会議・ワークショップの概要を報告しました。

報告内容は本誌に掲載しております。

－3－ 日豪交換研修 報告

今年はおーストラリア協会の若手技術者6名をAJCE会員企業が受け入れます。

事前研修：平成19年6月～平成19年10月

研修生受入期間：

平成19年10月12日～11月2日

公式行事：

10月12日(金) 歓迎会

10月27日(土) 28日(日) 国内研修旅行

11月2日(金) ヤングサミット・送別会

研修成果は、AJCEホームページおよび会報にてご報告いたします。

－4－ AJCE 年次セミナー ご案内

日 時：平成19年11月20日(火)

13：30～17：30

場 所：(株)日本工営 会議室

テ ー マ：「設計・施工一括契約(DB方式)におけるコンサルタントの役割」

毎年好評を頂いているAJCE年次セミナーを今年も実施いたします。

本セミナーの詳細はAJCEホームページにて、ご案内いたします。

－5－ 平成20年新年賀詞交歓会新年 ご案内

日 時：平成20年1月9日(水)

18：00～20：00

場 所：日比谷 松本楼(日比谷公園内)

－6－ その他 行事予定

平成19年12月11日(火) 第218回理事会

編集後記

今号は、過日9月9日～13日、シンガポールに於いて開催された2007年FIDICシンガポール大会の特集号です。一昨年の北京大会に続く、アジアでの開催となりましたが、近年ますますの経済成長が進むアジア地域への関心度は高く、日本からも、AJCE会員の他、JBIC等、様々な機関の方々が参加され、大盛況のうちに閉幕しました。この大会参加者による毎年恒例の報告会は、10月5日に開催され、その模様はAJCEのホームページにも掲載しておりますので、是非ご覧下さい。

また、このたびAJCE事務局では、11年に亘ってご執務されました、藤江五郎 事務局長が退任されました。今秋より、山下佳彦 新事務局長のもと、新たな体制でますますの発展が国内外から期待されています。今後も一広報委員として、微力ながら「新時代」AJCEのお手伝いをしていけることを望んでおります。会員の皆様には、ぜひ引き続きのご支援をお願い申し上げます。

(広報委員会・大和 記)

会報掲載記事がAJCEホームページからダウンロードできるようになりました。
AJCEホームページ：<http://www.ajce.or.jp>

次号 Vol.31 No.3 (冬号) 予告
特集：日豪交換研修 報告

広報委員会からのお願い 会員各位の自由な投稿をお待ちします

コンサルティングエンジニアを取り巻くいろいろな問題を、もっと自由に議論し、より身近なものとして捉えていく場を提供したいとの考えから、会員の皆様からの原稿を募集し、随時掲載していきたいと考えております。会報を通して皆様方が伝えたい意見、体験報告等をお送り下さい。

氏名、所属、タイトル、ご執筆者のプロフィール（200字程度）、連絡先（電話番号等）を明記の上、3,000～4,000字程度の分量にまとめて、事務局宛にEメール、ファックス、郵送にてお送り下さい。写真・図表等も加えて頂ければより良い読み物となります。

AJCE会報11月号

2007年11月1日発行

発行 社団法人 日本コンサルティング・エンジニア協会 (AJCE)
東京都台東区上野3丁目16番4号 文行堂ビル3F
TEL 03-3839-8471 FAX 03-3839-8472
URL <http://www.ajce.or.jp/> E-mail: info@ajce.or.jp

編集 広報委員会

デザイン・レイアウト 株式会社 大應
東京都千代田区内神田1-7-5

普通会员・賛助会員一覧（平成19年10月9日現在）

（普通会员・53社）

株式会社アイ・エヌ・エー
秋山技術士事務所
株式会社明野設備研究所
池田技術士事務所
いであ株式会社
株式会社エヌジェーエス・コンサルタンツ
OYO インターナショナル株式会社
有限会社大塚エンジニアリング
有限会社大野化学機械工業所
大本俊彦建設プロジェクト・コンサルタント
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
技術士大野壽彦事務所
基礎地盤コンサルタンツ株式会社
有限会社クープラス
栗原環境技術研究所
黒澤R & D技術事務所
株式会社建設技研インターナショナル
株式会社建設技術研究所
国際航業株式会社
桜井技研
清水技術士事務所
創造工学研究所
有限会社高木技術士事務所
武田機械・経営技術士事務所
田中宏技術士事務所
中央開発株式会社
株式会社長大
電気技術開発株式会社
株式会社東京設計事務所
株式会社東光コンサルタンツ
株式会社ドーコン
中塩技術士事務所
中島技術士事務所
長友機械技術士事務所
中西技術士事務所
株式会社中堀ソイルコーナー
株式会社日水コン
日本工営株式会社
株式会社日本構造橋梁研究所
株式会社日本港湾コンサルタント
日本シビックコンサルタント株式会社
日本水工設計株式会社

株式会社パシフィックコンサルタンツインターナショナル
早房技術士事務所
有限会社樋口コンサルタント
平野技術士事務所
プラント設計株式会社
ペガサスエンジニアリング株式会社
株式会社メイケン
株式会社森村設計
八千代エンジニアリング株式会社
株式会社山下水道設計事務所
湯浅技術士事務所

（賛助会員・8社 3名）

株式会社石垣
株式会社荏原製作所
株式会社クボタ
住友信託銀行株式会社 東京中央支店
社団法人全国地質調査業協会連合会
社団法人日本建築家協会
株式会社日立製作所
前澤工業株式会社 東京支店
落久保 博明
海藤 勝
竹村 陽一

（企業内個人会員）

173名

（五十音順）



Association of Japanese
Consulting Engineers

社団法人 日本コンサルティング・エンジニア協会 (AJCE)
(FIDIC加盟機関)